

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理								
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質・性能									3.2	
Q-1 室内環境							0.40		3.5	
1 音環境							3.6	0.15		3.6
1.1 騒音							3.0	0.40		
1 暗騒音レベル							3.0	1.00	3.0	
2 設備騒音対策										
1.2 遮音							4.7	0.40		
1 開口部遮音性能							5.0	0.40	3.0	
2 界壁遮音性能							5.0	0.30	3.0	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							5.0	0.15	3.0	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							3.0	0.15	3.0	
1.3 吸音							3.0	0.20	3.0	
2 温熱環境							3.8	0.35		3.8
2.1 室温制御							3.4	0.50		
1 室温設定							3.0	0.60	3.0	
2 換気・加湿・除湿制御										
3 外皮性能					W		4.0	0.40	3.0	
4 ショック制御										
5 温度・湿度制御										
6 個別制御										
7 時間外空室に対する配慮										
8 監視システム										
2.2 湿度制御							3.0	0.20	3.0	
2.3 空調方式							5.0	0.30	3.0	
ペリメーターゾーンはEHP床置き型とし、吹出し口は上部に設置し										
3 光・視環境							3.0	0.25		3.0
3.1 昼光利用							3.0	0.30		
1 昼光率							3.0	0.60	3.0	
2 方位別開口										
3 昼光利用設備					W		3.0	0.40	3.0	
3.2 グレア対策							3.0	0.30		
1 曇りガラスのガラス										
2 昼光制御					W		3.0	1.00	3.0	
3.3 照度							3.0	0.15		
1 照度							3.0	1.00	3.0	
2 照度対策										
3.4 照明制御							3.0	0.25	3.0	
4 空気環境							3.5	0.25		3.5
4.1 発生源対策							4.0	0.50		
1 化学物質汚染							4.0	1.00	3.0	
2 化学系染料汚染										
3 デニム・カビ等										
4 レジソール対策										
4.2 換気							3.0	0.30		
1 換気量							3.0	0.33	3.0	
2 自然換気性能							1.0	0.33	3.0	
3 取り入れ外気への配慮							5.0	0.33	3.0	
4 給気計画										
4.3 運用管理							3.0	0.20		
1 CO ₂ の監視							3.0	0.50		
2 喫煙の制御							3.0	0.50		
F☆☆☆規格材料をほぼ全面90%以上使用している。										
外気の取り入れは排気口と異なる方位で、かつ10m以上離れてい										
Q-2 サービス性能								0.30		3.2
1 機能性							3.0	0.40		3.0
1.1 機能性・使いやすさ							3.0	0.60		
1 広さ・収納性							3.0		3.0	
2 高度情報通信設備対応							3.0		3.0	
3 バリアフリー計画							3.0	1.00		
1.2 心理性・快適性							3.0	0.40		
1 広さ感・景観							3.0	0.50	3.0	
2 リフレッシュスペース										
3 内装計画							3.0	0.50		
2 耐用性・信頼性							3.7	0.31		3.7
2.1 耐震・免震							3.8	0.48		
1 耐震性							4.0	0.80		
2 免震・制振性能							3.0	0.20		
2.2 部品・部材の耐用年数							3.5	0.33		
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		5.0	0.29		
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W		3.0	0.12		
3 配管・配線材の更新必要間隔					W		3.0	0.29		
4 主要設備機器の更新必要間隔					W		3.0	0.29		
2.3 適切な更新										
1 床・壁・天井・外装仕上げ材の更新										
2 配管・配線材の更新										
3 主要設備機器の更新										
2.4 信頼性							3.8	0.19		
1 空調・換気設備							4.0	0.20		
2 給排水・衛生設備							4.0	0.20		
3 電気設備							3.0	0.20		
4 機械・配管支持方法							3.0	0.20		
5 通信・情報設備							5.0	0.20		
換気設備の分散化と空調設備の負荷容量を下げた運転が可能										
節水器具の採用及び井水の利用										
通信手段の多様化、複数ルート化、精密機械を地上に設置										

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
	W	G	S							
3 対応性・更新性					3.0	0.29	-	-	3.0	
3.1 空間のゆとり					3.0	0.31	-	-		
1 階高のゆとり					3.0	0.60	3.0	-		
2 空間の形状・自由さ					3.0	0.40	3.0	-		
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31	3.0	-		
3.3 設備の更新性					3.1	0.38	-	-		
1 空調配管の更新性					3.0	0.17	-	-		
2 給排水管の更新性					4.0	0.17	-	-		
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-		
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-		
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-		
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	-	-		
構造部材を痛めることなく修繕、更新が可能										
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	3.0	
1 生物環境の保全と創出		G			3.0	0.40	-	-	3.0	
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.20	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.40	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性									3.5	
LR-1 エネルギー					-	0.40	-	-	4.2	
1 建物の熱負荷抑制	W			日本住宅性能表示基準省エネルギー対策等級「等級4」に相当	5.0	0.30	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20	-	-	3.0	
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				3.0	0.50	-	-		
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			3.0	0.50	-	-		
3 設備システムの高効率化	W			高断熱・ペアガラス・ヒートポンプ空調・LED照明の採用	5.0	0.30	-	-	5.0	
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0	
4.1 モニタリング	W				3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制	W				3.0	0.50	-	-		
LR-2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.0	
1 水資源保護					3.6	0.15	-	-	3.6	
1.1 節水	W			擬音装置及び節水便器を採用	4.0	0.60	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-		
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-		
2 低環境負荷材					3.0	0.85	-	-	3.0	
2.1 資源の再利用効率					3.0	0.35	-	-		
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-		
2 非構造材料の再利用効率	W				3.0	0.33	-	-		
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				3.0	0.04	-	-		
2.3 有害物質を含まない材料	W				3.0	0.08	-	-		
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	-		
2.5 部材の再利用可能性	W				3.0	0.18	-	-		
2.6 フロン・ハロンの回避					3.0	0.18	-	-		
1 消火剤	W				3.0	0.33	-	-		
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-		
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-		
LR-3 敷地外環境					-	0.30	-	-	3.3	
1 大気汚染防止	W			燃焼機器を採用していない。	5.0	0.15	-	-	5.0	
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.10	-	-	3.0	
2.1 騒音					3.0	0.33	-	-		
2.2 振動					3.0	0.33	-	-		
2.3 悪臭					3.0	0.33	-	-		
3 風害、日照障害の抑制					3.0	0.10	-	-	3.0	
3.1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-		
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-		
4 光害の抑制					3.0	0.05	-	-	3.0	
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		3.0	0.30	-	-	3.0	
6 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.30	-	-	3.0	
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-		
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-		
6.3 交通負荷抑制			S		3.0	0.30	-	-		
6.4 廃棄物処理負荷	W				3.0	0.30	-	-		

LR-1 用途別点表		学校	-	-	-	面積按分
		5,463 m2	-	-	-	総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	5.0	-	-	-	5.0
3	設備システムの ERRIによる評価	5.0	-	-	-	5
	高効率化 個別設備による評価	-	-	-	-	
3.1	空調設備	5.0	-	-	-	
3.2	換気設備	-	-	-	-	
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	
3.4	給湯設備	-	-	-	-	
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	